



2学期もご理解・ご協力、大変ありがとうございました

早いもので、2学期も残すところ明日の終業式1日となりました。もう年の瀬です。1年を振り返って、子どもたちや保護者の皆様の心に残っていることは何でしょうか？

2学期は、造形活動の日、防災参観日、さくらっ子集会、スター誕生集会、音楽会、マラソン大会など子どもたちが活躍し、おうちの方にも見ていただけるたくさんの行事がありました。また、愛護班別人権・同和教育研修会、親子体験学習、防災町歩き、手つなぎ防災広場、町探検、炊き出し体験、農家の人に学ぶ、里芋クッキング、福祉教育、共楽園訪問など、保護者の方や地域の方のご協力があってこそその貴重な学びや体験学習もたくさんできました。

特に、2学期は「いのち」を核とする教育活動に力を入れてきました。子どもたちが自他の命を大切にすることを多面的・多角的に考え、力を付けてきたことに、学校を支えていただいている皆様に心から感謝申し上げます。

令和7年も子どもたちにとっても、保護者の皆様、地域の皆様にとっても、健康で意欲に満ちた幸せな1年となりますことをお祈り申し上げます。



☆☆☆マラソン大会・個人懇談会ありがとうございました☆☆☆

12月11日(水)に開催されたマラソン大会での見守り、応援など、大変ありがとうございました。子どもたちが粘り強く頑張り抜く姿に感動しました。途中で経路を間違えても、戻って最後まであきらめずにゴールした児童や、走るのが苦手で前日まで参加を迷っていたものの、自分に打ち勝って走り切った児童など、多くの子どもたちの心の成長を感じることができました。

現在の社会が求めている「変化の激しい社会を生き抜く力を持つ自立した子どもの育成」には、忍耐力が不可欠です。子どもを取り巻く環境は、昔と今では大きく変わっています。放課後に近所の友達と鬼ごっこや外遊びを楽しんでいた昔の子どもと、家でのゲームや動画視聴、習い事で一日が終わる今の子どもたちでは、体力面・精神面で大きな違いが生じるのは仕方のないことかもしれません。しかし、マラソン大会のような学校での体験活動や学習を通じて補える部分も大きいと思います。

これからの子どもたちに求められるのは、大人にやらされるのではなく、自分で決めて主体的に頑張り抜く力です。そして、成功体験こそが「自立した子ども」へと導くために欠かせないものだと思います。学校と家庭が手を取り合い、子どもたちが自ら決めた目標を達成するための成功体験の機会を増やしていきましょう。



個人懇談会へのご参加、ありがとうございました。短い時間ではありましたが、担任としっかりお話しできたでしょうか。お子様の学校での頑張りや、おうちでの様子を共有できたことと思います。また、さらなる成長に向けて具体的な目標も持てたことと思います。3学期も家庭と学校が連携し、子どもたちの成長を一緒に応援していきましょう。